

第15回 耐火物の基礎学問研修

耐火物の基礎学問研修

重要なお知らせ(2023年2月24日現在)

- ☆ 可能な感染対策を講じて予定どおり開催することで準備を進めています。(指定席)
- ☆ 諸般の事情により講座の中止の場合は、参加費は返金します。※感染状況によっては、中止又はWeb変更になる場合もございます。
- ☆ 発熱や体調不良の方は、事前連絡の上参加をご遠慮ください。
- ☆ 当日は、国又は岡山県が示した感染対策を図ります。

耐火物並びに同関連産業の社員として働き始めた、或いは、中途採用で就職して期間が短い皆さんを対象として、耐火物の基礎技術を学ぶ研修会を開催します。

＜主催＞： 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団

＜共催＞： 耐火物技術協会中国四国支部、日本セラミックス協会中国四国支部

■ 開催日程： 2023年 5月15日(月)・16日(火)

■ 会場： ビューティまきび 孔雀の間全室 (岡山市北区下石井2-6-41 TEL 086-232-0511)

■ 定員： 5/15 耐火物の基礎講座Ⅰ：100名 交流会：50名 5/16 耐火物の基礎講座Ⅱ：100名
※ 収容人数とテキスト在庫に限りがありますので、定員に達した時点で締め切ります。

■ 参加費：

区分	基礎講座Ⅰ(5/15)	交流会(5/15)	基礎講座Ⅱ(5/16)
会員	5,500円(税込)	6,600円(税込)	5,500円(税込)
会員外	11,000円(税込)		11,000円(税込)

※ 昼食は各自となります。

※ 一日のみの参加も可能です。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で急遽WEB開催への変更とすることもございます。
ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

【開催方法】WEB (Zoom) による配信 【定員】100回線 (受講端末回線数)

【会員】11,000円(税込)/1回線 【会員外】22,000円(税込)/1回線

■ 交流会： 耐火物技術協会中国四国支部が主催して聴講者、関係者と講師との交流を図り、今後の仕事に役立つ人脈ネットワークの構築を目的としたものです。

■ テキスト代： 3,300円(税込) (TAIKABUTSU入門書第5版/2022年4月刊行) ※但し、持参の場合は不要(下記 ※3)

※1) 申込時に主催・共催団体の会員の有無をお示し下さい。(必要な講座のみ選択して御参加いただけます。)

※2) 参加費等は、2023年4月27日(木)までにお振込下さい。(請求書は、申込書受領後4月以降送付します)

※ご入金確認後準備出来次第、受講票等送付します。

※3) 主なテキストは「TAIKABUTSU入門書第5版/2022年4月刊行(3,300円(税込))」を使用します。

当日ご持参下さる方はテキスト代は不要となります。但し、当日のみのテキスト貸出はできません御了承下さい。

※4) 参加費には昼食代は含まれていません。(各自でお取りください。)

■ 当日持参物：筆記用具、ノート等を持参下さい。

■ 注意事項：万一欠席される場合は、ご連絡いただくと共に代理の方のご派遣をお願いします。

■ 申込方法：申込書に必要事項を御記載の上FAX又はメールにて、2023年4月6日(木)までに事務局へお申し込みください。※請求書は、申込書受領後4月以降送付します。
〒705-0021 岡山県備前市西片上1406-18 (一財)岡山セラミックス技術振興財団
TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227 Email: csato@optic.or.jp 担当：佐藤

第15回 耐火物の基礎学問研修 参加申込書

年 月 日

企業名		申込者		部署・役職	
所在地 〒 -					
TEL		FAX		Mail	
<p>会員の確認 (該当社/者は会員価格で御参加いただけますので必ずお示してください。) ※Oをお願いします。</p> <p>①一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団</p> <p>②耐火物技術協会中国四国支部 (中国四国支部のみ会員価格)</p> <p>③日本セラミックス協会中国四国支部 (中国四国支部のみ会員価格)</p>					
<p>※ テキスト「TAIKABUTSU 入門書第5版/2022年4月刊行 (3,300円 (税込)) を使用します。ご購入の場合は欄にO印ください。</p> <p>※ 参加費等は、4月27日 (木) までにお振込下さい。(請求書は、申込書受領後4月以降送付します)</p> <p style="color: red;">※入金確認後に受講票等送付します。 振込日 年 月 日</p>					

<参加する行事にO印>

<購入の場合はO印>

No.	氏名	所属	5/15(月) 講座 I	5/15(月) 交流会	5/16(火) 講座 II	TAIKABUTSU 第5版
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

【WEB 開催へ変更になった場合は、改めてご連絡させていただきます。】

- ・ 1台の端末で複数人ご参加いただくことも可能です。
- ・ ご参加いただくにあたり、メールアドレスが必要です。(WEB開催のURLは、申込担当者のみへお知らせします。)
- ・ 許可なく無断で複製、編集、配信、レンタル等をしないでください。

■ プログラム 講義 I 5月15日(月)ピュアリティまきび 孔雀(岡山市北区下石井2-6-41)

日	時間	内容
耐火物の基礎講座 I	9:00-9:05	開会あいさつ 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 理事長 矢吹 巧
	9:05-10:20 (75分)	講義1「耐火物に用いられる各種原料の種類と用途」 品川リフラクトリーズ株式会社 調達センター 原料資材部 主任部員 山下 恭平
		TAIKABUTSU 入門書の内容をベースに耐火物で使用される各種原料の特徴について概説する。
	10:20-10:30	休憩 (10分)
	10:30-11:30 (60分)	講義2「耐火物の種類と特性-耐火れんがを中心に」 黒崎播磨株式会社 技術研究所 マネージャー 塩濱 満晴
		TAIKABUTSU 入門書「耐火物の種類と特性」の内容に基づいた講演を行う。
	11:30-12:30	昼食休憩 (60分)
	12:30-14:00 (90分)	講義3「不定形耐火物の基礎と応用」 日本特殊炉材株式会社 副部長 遠藤 善康
		不定形耐火物は、耐火物生産で全体の7割を締めるので、重要性は高く、環境負荷も低い。不定形耐火物の特性や品質は施工方法により異なり分類化されている。不定形耐火物のなかでも、主要なキャストブルを中心に、吹付材、プラスチック材、モルタルについて解説する。
	14:00-14:10	休憩(10分)
14:10-15:25 (75分)	講義4「耐火断熱材料の基礎と断熱設計」 イソライト工業株式会社 部長 小島 芳夫	
	耐火物入門書の内容をベースに、耐火断熱れんが、セラミックファイバー等、断熱材の種類や基本的な特性を解説し、断熱設計への適用事例を紹介する。	
15:25-15:35	休憩(10分)	
15:35-16:50 (75分)	講義5「耐火物の試験評価技術概説」 一般財団法人 岡山セラミックス技術振興財団 副所長 内田 茂樹	
	「耐火物入門書 第5版」の第11章に基づいて概説する。耐火物に馴染みのない初心者を対象に、専門用語(業界用語)の説明を織り込みながら、各種評価試験の概説を行う。評価試験の原理、設定条件の意味付け、実炉(実機)との関連性などを説明する。	

■ 交流会 ピュアリティまきび 千鳥

日	時間	内容
5/15 (月)	17:00-18:30 (90分)	講師、聴講者、関係者との交流を図る簡単な交流会を企画しました。

■ プログラム 講義Ⅱ 5月16日(火) ピュアファイまきび 孔雀

日	時間	内容
耐火物の基礎講座Ⅱ	9:00-10:15 (75分)	講義6「耐火物製造プロセス技術」 黒崎播磨株式会社 窯炉製造事業部 窯炉技術部 マネージャー 八田 学
		「TAIKABUTSU 入門書 第5版」をもとに耐火物の製造プロセスについて講演を行う。
	10:15-10:25	休憩(10分)
	10:25-11:40 (75分)	講義7「耐火物の用途」 品川リフラクトリーズ株式会社 技術研究所 試験センター長 小宅 民 淳
		鉄鋼、セメント、ガラスや非鉄分野等の製造炉と使用される耐火物やプロセス概要について、「TAIKABUTSU 入門書 第5版」に基づいて紹介する。
	11:40-12:40	昼食休憩(60分)
	12:40-13:20 (40分)	講義8「耐火物施工副資材 - アンカーメタル -」 並田機工株式会社 生産本部 技術部 主任 中岡 朋也
		アンカーメタルの品種、特徴、用途の説明、熱間膨張用隙間材『ナミカラー』の特徴及びアークスタッド溶接の紹介をする。
	13:20-13:30	休憩(10分)
	13:30-14:45 (75分)	講義9「築炉技術の基礎」 株式会社広築 生産整備事業部 大阪営業所 所長 沖田 一夫
「TAIKABUTSU」入門書の内容に沿って、主に煉瓦積みについて築炉技術の基礎を解説する。		
14:45-14:55	休憩(10分)	
14:55-16:10 (75分)	特別講演 「SDGs実現に向けた鉄鋼業の取り組みと耐火物技術」 JFEスチール株式会社 スチール研究所 部長 松永 久 宏	
	持続可能な社会の実現のために企業においてもSDGsへの積極的な取り組みが求められている。SDGsゴールに対する鉄鋼業の位置づけと課題、特にCO ₂ 排出削減に向けた技術開発について概説する。また鉄鋼用耐火物に期待される技術として、リサイクル推進によるゼロエミッション化、断熱技術による省エネ=CO ₂ 排出低減への貢献など、当社事例を中心に説明する。	

5/16
(火)